

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成27年9月24日(2015.9.24)

【公表番号】特表2015-503254(P2015-503254A)

【公表日】平成27年1月29日(2015.1.29)

【年通号数】公開・登録公報2015-006

【出願番号】特願2014-535040(P2014-535040)

【国際特許分類】

H 04 B 5/02 (2006.01)

H 01 Q 21/28 (2006.01)

H 01 Q 21/24 (2006.01)

【F I】

H 04 B 5/02

H 01 Q 21/28

H 01 Q 21/24

【手続補正書】

【提出日】平成27年8月3日(2015.8.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0089

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0089】

同様に、受信動作については、非接触プラグコネクタ200の送受信回路は、第2のアンテナ部材220を介して第2の所定の搬送周波数(f_2)の電波を受信する。その後、送受信回路は受信された電波を復調し、その復調された電波をベースバンド出力信号として入出力部へ出力する。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0096

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0096】

任意の回転状態に固定された時に、非接触プラグコネクタ200が対応する相手コネクタへ電波を送信や対応する相手コネクから電波を受信することができるように、第1のアンテナ部材210と第2のアンテナ部材220は、円偏波を有する電波を送信や受信するように構成される。図2(B)に示される例示的具現化に従って、第1のアンテナ部材210は右回り円偏波の電波を送信や受信するように構成され、第2のアンテナ部材220は左回り円偏波の電波を受信や伝送するように構成される。特定のタイプの円偏波にもかかわらず、非接触プラグコネクタ200のアンテナ部材210又は220は、電磁接続を確立するために、相手プラグコネクタ275の対応するアンテナ部材265又は270の円偏波のタイプと同じであるタイプの円偏波を介して送信や受信するように構成される。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0102

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0102】

加えて、非接触プラグコネクタ300は、アンテナ部材310に接続される送受信回路と、ベースバンド入力信号の入力のため及びベースバンド出力信号の出力のための入出力部とを含むが、これらの送受信回路と入出力部は図3(A)及び図3(B)には示されていない。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0120

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0120】

この実施形態では、第1のアンテナ部材410と第2のアンテナ部材420は非接触プラグコネクタ400の嵌合端内に印刷回路基板405の両側に取付けられている。第1のアンテナ部材410と第2のアンテナ部材420の印刷回路基板405の両側への取付けを可能とする(即ち、2個のアンテナ部材の各々に対して十分な空間を提供する)ために、印刷回路基板405を非接触プラグコネクタ400の外側遮蔽部材(即ち、図1(A)及び図1(B)の部材145)や封止部材(即ち、図1(A)及び図1(B)の部材150)に直接接触するように配置することは不可能である。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0135

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0135】

任意に回転された状態で固定される時、非接触プラグコネクタ400が電波を対応する相手コネクタへ送信することや電波を対応する相手コネクタから受信することができるために、第1のアンテナ部材410と第2のアンテナ部材420は、円偏波を有する電波を送信や受信するように構成される。図4(B)及び図4(D)に示される例示的具現化に従って、第1のアンテナ部材410は右回り円偏波の電波を送信や受信するように構成され、且つ第2のアンテナ部材420は左回り円偏波の電波を受信や伝送するように構成される。特定のタイプの円偏波にもかかわらず、非接触プラグコネクタ400のアンテナ部材410又は420は、電磁接続を確立するために、相手プラグコネクタ475の対応するアンテナ部材465又は470の円偏波のタイプと同じタイプの円偏波を介して送信や受信するように構成される。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0151

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0151】

任意の回転状態に固定された時に、非接触プラグコネクタ500が対応する相手コネクタへ電波を送信することや非接触プラグコネクタ500が対応する相手コネクタから電波を受信することができるように、第1のアンテナ部材510と第2のアンテナ部材520は円偏波を有する電波の送信や円偏波を有する電波の受信をするように構成される。例示的具現化に従って、第1のアンテナ部材510は右回り円偏波の電波を送信や受信するように構成され、第2のアンテナ部材520は左回り円偏波の電波を受信や送信するように構成される。特定のタイプの円偏波にもかかわらず、非接触プラグコネクタ500のアンテナ部材510又は520は、電磁接続を確立するために、相手プラグコネクタ560の対応するアンテナ部材565又は570の円偏波のタイプと同じであるタイプの円偏波を介して送信や受信するように構成される。